

平成31年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 工学研究科
氏 名 元垣内敦司

活動テーマ	光技術による産学官の連携と地域産業の振興
実施期間	平成31年4月1日 ～ 令和元年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>光技術で地域産業の活性化を目指すには、三重大学、三重県工業研究所、民間企業が共同で光技術の基礎と応用に関する情報提供と議論の場を提供し、産学官連携を通して光を用いた新製品の開発への道筋を作ることが必要であると考えている。本活動では前年度の活動成果を踏まえ、三重大学と三重県との連携の強化を更に図り、“次世代自動車エレクトロフォトンクス”で地域の光技術に関する拠点形成を目指すことを目的として三重県と連携して次世代自動車向けの光技術に焦点を当てた地域貢献活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次世代自動車エレクトロフォトンクス研究会立ち上げに向けた調査活動 <p>三重県発の自動車技術に関する研究会を立ち上げるために、三重県内の企業を訪問し、研究会参加の勧誘活動を行ったところ、三重県内の中小企業数社から参加表明の返事を頂いた。研究会の方向性がまだ定まらない問題があるため、次年度に改めて方向性を決め直すと共に、北勢サテライトの研究会参加を目標に活動を続ける予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三重県と秋田県や関西地域との光技術に関する広域連携交流 <p>昨年度に引き続き、代表者が秋田県の次世代ひかり産業技術研究会のメンバーとして活動し、秋田県における光技術における産学官連携の在り方を学び、光技術を通じた三重県と秋田県との広域連携の模索を行っている。秋田大学が採択された経済産業省の令和元年度「地域中核ローカルイノベーション支援事業」のプロジェクト・「ALL : All Japan Lighting Laboratory の創設・展開による秋田発新産業創出事業」に支援機関として加わることができ、秋田県との光技術に関する広域連携の土台を築くことができた。今後は準備中の次世代自動車エレクトロフォトンクス研究会にも秋田県側から何名化の方に加わっていただき、より強固な広域連携を図る予定である。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>光産業に関しては、LED 照明分野を除いて関連する企業が少ないことが問題で、三重県内に地域を限った産学官連携では難しいことがわかっ</p>

た。引き続き、三重県内での産学官連携促進活動を行いながら、秋田県や関西地域など、三重県を含めた広域連携を図りつつ、三重県が主体となった光技術をテーマとした産学官連携促進活動を行っていく予定である。

(3) 共同実施者との連携状況

共同実施者である三重県とは密に連携を図りながら、次世代自動車エレクトロフォニクス研究会の立ち上げに向けて活動を行うことができた。研究会は次年度以降の立ち上げにはなってしまったが、今後も引き続き研究会立ち上げに向けて協力関係を保ちながら活動を行う。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

代表者の LED 照明や光学技術などの研究シーズを活用した地域連携活動ができていると考えられる。今後も引き続き、研究シーズを強固なものにしながら、地域貢献活動を進めていきたいと考えている。特に回折レンズ技術については、基礎研究レベルから共同研究を実施するフェーズに移行したと考えられるため、次世代自動車エレクトロフォニクス研究会の立ち上げのキーとなるシーズにしたいと考えている。

(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

イベント等は開催していません。

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

3年間にわたる地域貢献活動を通して、三重県を主体とする次世代自動車エレクトロフォニクス研究会の立ち上げに向けた準備ができた。また、秋田県との広域連携についても ALL への参画することができ、光技術を通じた広域連携活動を展開するためのきっかけを作ることができた。